



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



避難訓練

～3.11の教訓を生かして～

11日、避難訓練を行いました。3.11東日本大震災・原子力発電所事故にあわせて実施することで、より避難訓練の大切さを認識しようとするねらいがありました。

今回の避難訓練は、大規模地震を想定して、○放送が使えなくなった ○昇降口・廊下等、校舎内に危険箇所があり、通れないところがある ○緊急に避難が必要である という状況設定で行いました。そのため、決められたルートを決められた方法で避難するのではなく、教師自身が最適解を自己判断しながら、より早くより安全な方法で子どもの命を守ること、子ども達からいけば、自分の命を守るためには何が必要かを考えながら行動すること等をより現実的な訓練の中で学ぶことができました。

震災から10年。震災後に生まれた子ども達も多くいます。しかし、年齢に関わらず、福島に生まれ、福島と生きる私たちにとって3.11は特別な日であり、多くの犠牲になった人達の思いをつなぎ、震災・それに続く原子力発電所事故の経験をつないでいくことは「使命」ではないかと思うのです。福島県知事からのメッセージもご家庭に届けられたことと思いますので、この機会に是非、震災当時のことを子どもたちに話し、あわせて命の大切さを伝えてほしいと思っています。災害はいつ起こるかわかりません。子どもたちには、非常時にしっかりと自己判断して行動できる人になってほしいと思っています。



GIGAスクール構想

～これからの時代を生き抜くために～

「GIGA スクール構想」という言葉を聞いたことはありますか？ GIGA スクール構想とは、文部科学省が進めている次のような施策です。

義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画です。

その目的は子どもたち一人一人の個性に合わせた教育の実現にあります。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、計画が前倒しで実施され、学校のネットワークが高速化され、児童一人一台のタブレットが配備されました。10日には、市教育委員会主催の研修会が北小で開かれ、教職員が参加しました。授業における活用も少しずつ始まっています。



時代の流れ、社会の変化の波に乗り遅れないように、手探りのところもありますが、どんどん活用していこうと思っています。